



★平和学習★

終戦から80年となる年を迎え、各方面から戦争や平和に関する情報が流れてきます。本校では、各学年で平和に関する取組が行われています。 ※生徒の感想は、一部修正・抜粋

【1学年】対馬丸記念館と宜野湾市嘉数高台公園の見学

・沖縄戦は地上戦だけと思っていたことが多かったけど、海の上でも悲惨な事件が起きていたことに驚いた。(1-2嘉手川煌生)・自分達と同じくらいの子や小さな子まで多くの人が犠牲になっている。413人分の遺影は、「自分達のように戦争で多くの命を失ってほしくない」といっているみたいでした。(1-2踊場芽依)・たくさんの遺影を見て、犠牲になりたかったわけでもないのに若い命を落としてもすごくかわいそうだった。遺影の人達は、もう二度と戦争が起きないように、君たちが沖縄の平和を守ってほしい、そして今を大切に生きなさい。」と語りかけていると思う。(1-2平良るる)



【2学年】道徳授業「沖縄戦を学ぼう：ひめゆり学徒の証言、対馬丸他戦争体験記」

・戦争は、沢山の人を亡くし、沢山の人が言葉にならないくらい辛い思いをしてきた想像もできない戦いだったのだなと思いました。今の楽しい生活ができていことに誇りを持っていきたいと思いました。(2-1島袋琉華)・平和な日々を保つために、人とくだらないことでけんかしないようにしたり、戦争のことを忘れないように、これからの子どもたちにも平和の大切さを伝えていきたい。今の恵まれている環境に感謝して、一日一日を大切に生きていきたいと思いました。(2-2仲程ひまり)・戦争をする意味は何だろう。戦争で犠牲になった人達はどんな思いだったんだろう。なんで戦争をすぐ止められず、たくさんの人達が死んだんだろう。など、色々なことを考えて、とても苦しくなりました。このようなことが起こらないために、平和の尊さ、戦争の恐ろしさを沢山の人達に伝えていけたらいいなと思いました。(2-3宮里純愛)

【3学年】本部町立博物館慰霊展「もとぶの住民と日本軍・米軍」見学

・本部町で亡くなった人は4000人と聞いてとてもびっくりしたし、その中に自分の先祖もいるのかなと思うと、とても心が痛くなりました。「赤紙」が渡されたら兵隊にならないといけないう断ったら殺されると知って、嫌でも入らないといけないう地獄のような時代だったのかなと思いました。この学習を通して、戦争の恐ろしさを知ることができました。二度と戦争が起これないようにいろんな人たちに戦争の恐ろしさを知ってほしいなと思います。(3-1大城杏慈)・自分と同じ年齢の人たちが自ら兵士として戦場に出たいと志願したことにはびっくりした。その時代の学校の教育について調べてみたいです。本部町でこのような悲惨なことがあったことを知ることができた。南部や沖縄全体でもっと悲惨なことがあったと考えると、とても怖いと感じました。今の生活に感謝したいと思っています。(3-2仲田騎利都)・一番驚いたのは、小学4年生から、ツルハシとスコップで毎日壕掘りをしていたということです。まだ戦争にもなっていないのに、小学生で毎日壕を掘って戦争のことを考えていたと思うととても苦しくなりました。また、14歳からほぼ強制で兵にさせられたということを知って、自分と同じ14歳なのに、自分だったら絶対嫌だなと思いました。服の柄だけで見分けられたり、米兵と間違えられて殺されてしまったり、こんなに悲しい戦争を起こしたくないので、戦争についてもっと考えて、自分の町で起こったことを次の世代にも伝えていきたいです。(3-3玉城彩希)



★授業参観・PTAバレーボール大会★

6/14は土曜授業参観で、たくさんの保護者に参加していただきました。視聴覚室に設けられた「ゆんたくカフェ」では、保護者が子どもの進路のことや学校の相談ができるような取り組みが行われ好評でした。4校時は3年生の保護者を対象とした進路説明会も行われ充実した参観日となりました。午後のPTAバレーボール大会では、男女バレー部などの協力もあり、大会を盛り上げてくれました。参加していただいた保護者や生徒の皆さんに感謝申し上げます！



★本校22期卒業生からの寄贈★

～「本部中子どもたちのために」～

6/10（火）、本校22期卒業生の方々4名が来校し、古希同窓会の剰余金と募金15万円を、「本校の子どもたちのために活用してほしい」と寄贈していただきました。22期卒業の先輩方からの温かいお志、感謝申し上げます！

